

みどりの風

令和3年9月29日（水） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強をします
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

子ども達をコロナ感染から守るために。

大きな不安を抱えながら再スタートした学校生活。子ども達をコロナ感染の脅威から守るために、今できる対策について全職員で徹底議論し、共通理解し、実践に移しています。保護者の皆様の不安が少しでも軽くなるよう、その具体的な実践を紹介します。

まず、登校時。担任以外の職員が玄関で待ち、マスク着用と手指消毒を徹底させます。密を避けるように誘導しながら靴を履き替えた後、低・中・高学年別のルートを通って教室に向かいます。できるだけ接触しないようにするためです。

その頃、各担任は、教室の換気や室温調整をしながら子ども達の登校を待ちます。そして、一人ずつ丁寧に健康観察をします。基本的に担任は、子ども達が下校するまで教室に張り付き感染防止対策が徹底するよう見守ります。例えばトイレの使い方についても、トイレ内で待つのは一人だけ、後はトイレ外のラインに立って待つという約束事を決め、しっかりと見守るようにしています。手洗い場も密を避ける工夫をしています。



各学年には一人ずつ、教師が補助として付き、欠席連絡の確認や体温表のチェック、配付物の管理や家庭学習の丸付けなどを受け持ちます。職員総掛かりの体制です。

下校時は、他学級の様子を見ながら、できるだけ重ならないタイミングで担任が引率し1列で下足場に向かいます。できるだけ密を避けながら履き替え、下校となります。

子ども達が下校したら、教室内の机・椅子、子ども達が触ったところ、トイレ、手洗い場、手すりなどを消毒します。勿論、午前と午後の2回消毒です。精一杯やります。

給食再開に向けて。

コロナ感染終息の目安となる「感染者発生後2週間」が経過する10月1日（金）から通常日課に戻しますが、今一番大事に考えているのが、感染リスクが最も高いと言われる給食時間をどのように運営するかという点です。これまで以上に工夫を凝らし、安全に実施していかなければなりません。今、以下の方向で実施しようと議論を重ねています。

徹底したいことは、①確実な手洗い ②飛沫を限りなく防ぐ ③物に触る機会を減らすの3点です。手洗いについては、まず、担任が付き添い当番が丁寧に手洗いし、配膳の準備を始めた段階で当番以外の子ども達が手洗いを始める2段階とします。飛沫防止のため、おしゃべり禁止は勿論、手洗いから配膳まで動線が一方向になるよう徹底します。また、歯磨きも自席で行います。牛乳やストローなど、これまで当番が配っていた物もセルフサービスとし、当番の分は当番以外の子が配膳する方式を止め、当番の仕事が終了次第、自分で配膳する形を採ります。随時、改善します。

